



手作りされた遊び道具や壁面装飾にも、手間を惜しまない取り組みがうかがえるホールにて

仲間とともに
その17

やまゆり保育所

「やまゆり保育所」では、家庭的な雰囲気の中0～2歳の子どもたちがのびのびと毎日を過ごしています。「村に1つだけの保育所として、一生懸命取り組んできました。その気持ちは、震災前と少しも変わっていません」と中井田多美子所長は話します。また、開所時から勤務する今野恭子先生(関沢)は「『安心・安全』が本場に大事なこと」と改めて感じながら保育に取り組んでいるそう。細やかに気配りされた日々を通じて、子どもたちの健やかな笑顔が育まれています。

活動データ

- 平成23年5月から現在の施設(川俣町)で保育が始まりました
- 現在の職員は、所長1人・保育士5人・調理師1人の計7人
- 調理師が手作りする給食やおやつは毎食検査を欠かしません
- 0～2歳児・8人が通所しています

8/18

比曽芸能保存会に栄えある感謝状

新うつくしま、ふくしま。県民運動にて

「比曽の三匹獅子」の継承に取り組む比曽芸能保存会に、「新うつくしま、ふくしま。県民運動」知事感謝状が授与されました。この表彰は、地域を支える活動のため、今年度は県内の個人と団体13組が表彰されました。

「比曽の三匹獅子」が被災後初めて演じられたのは、平成23年9月に松川町の仮設



表彰の喜びを胸に、保存会代表の皆さん。表彰式が行われた福島市の杉妻会館にて



村民を前に披露した「いいいたて村文化祭」(平成25年10月26日)

住宅で行われた「絆つながる『まていな日。』」でした。その後も避難で区民が離ればなれになる中、若手への継承を進め、月に数回の練習を重ねて避難先や村のイベントに参加。今年4月には東京大学で公演し、取り組みも紹介しました。会長の菅野秀一さんは「皆のがんばりが報われた思い。今後のやる気につながり力となります」と喜びを話していました。

表紙 未来への翼「ドイツ研修」

ホームステイ先の家族と過ごした笑顔のひとときです。P2～5の特集もご覧ください



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。